



# 進路だより

5月17日(火)

No. 3

第二中学校進路

## 高校の選抜方法

### 私立高校の選抜方法

学校の成績 (内申)	2学期2回の実力テスト 2学期の5段階評定	+	⇒	合否判定
当日の学力検査	(面接)			

### 公立高校の一般選抜の選抜方法

学校の成績	・調査書(5段階評定+活動/行動の記録)	}	450点	⇒	総合点 900点 合否判定
	1年生の評定合計(5×9教科)×2				
2年生の評定合計(5×9教科)×2					
3年生の評定合計(5×9教科)× <u>6</u>					
	・自己申告書	+	⇒		
当日の学力検査	国社数理英 90点×5教科 =		450点		

倍率タイプ(各公立高校が設定している倍率タイプにより、総合点を算出する)

	タイプⅠ	タイプⅡ	タイプⅢ	タイプⅣ	タイプⅤ
学力検査	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6
調査書	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4

## 入試に向けて、「今」みんなにできること・やるべきこと

### ○提出物をしっかり出す。授業をしっかり聞く。

内申点をあげておくことは、「今できること」の中でもわかりやすく重要なものですね。内申点を少しでも上げておくことで、入試に向けて有利に事を運べるようになります。そのためにも、日々の授業や提出物など、出来ることをしっかりとやっていきましょう。

### ○勉強体力をつける・継続的な学習習慣を身につける

「勉強体力」とは、集中して机に向かうことのできる力のことです。いわゆる体力と同じで、勉強も少しずつ机に向かう時間を増やしていくことで、集中して学習に取り組むことができる時間が増えていきます。行きたい学校が決まり、「がんばりたい」と思った時に力を発揮できる人は、この力を持っている場合が多いです。また、継続的な学習をすることは、学力の向上だけではなく、「続けることができた」という自信にもなります。簡単な事からでいいので、毎日続けることにチャレンジしてください。(毎日単語5個覚えるとかでOK)

### ○自己申告書に書ける経験をする

自己申告書については後日詳しくお話しますが、私立入試の面接などでも必ずと言っていいほど聞かれる内容が「中学校生活3年間での経験」についてです。どんなことでも構いませんが、自分自身で胸を張って「私は〇〇をがんばった。」といえる経験をしてください。これからでも遅くありません。部活、委員会、係、掃除、どんな小さなことでもいいので、意識的に何かに打ち込んでほしいと思います。

### ○アンテナを高く持つ・情報を集める

情報には敏感になっておくこと。中学校からの情報、高校からの情報、塾からの情報、街中で見つける情報、何があなたの未来を左右するかわかりません。出来るだけ多くの情報を集め、たくさんの選択肢の中から自分の未来を選べるようにしましょう。